

いつか[🐛]必ず[🐛]きっと

先生たちみんなで考えてみました。「なぜ勉強するのか？」

5月10日まで続く学校休業。こんな時だからこそ、今まで何となく疑問に思っていたことを一所懸命に悩み、考える時間の使い方もありなのかなと思います。1学年の先生方で、「なぜ勉強するのか？」を考えてみました。みんなの心に響くものが見つかればいいと思います。中学生としての授業は、まだ1時間も行っていないですが、休業中の課題に前向きに取り組むことを期待しています。

[加藤 直幸]

学校の勉強は、やらされる感が強くて好きになれませんね。でも、絶対に勉強はした方がいい。なぜ勉強するのか？それは、勉強することに意味がないと証明することができないからです。確かに、各教科の中身には、将来的に無駄なものも含まれています。しかし、無駄を省くことは、これからの時代A1が担ってくれます。これをやって何になるの？と感じることに本気で取り組み、もがきながら創意工夫する。そんな苦労は買ってでもしよう！嫌いだからこそ、面倒くさいからこそ、自信がないからこそとにかくやってみるのです。そうすると不思議なことに、物事をもっと良い方向に向かわせるための、前向きな気持ちやアイデアが湧いてくるのです。勉強は、必ずしも、点数や順位が上がるということだけが、喜びであり大事なのではないのですよ。もちろん、湧いてきたアイデアが失敗することもある。それも勉強。いろいろな感情とともに成長できるのが人間です。

[大関 崇真]

なぜ勉強するのか？先生は社会科という教科から説明していきたいと思います。まずぶっちゃけると「社会」はそれほど勉強しなくてもいいと思っています。過去にどんな人がいたとか、世界にはどんな人がいるかなんてたいして将来の仕事の役には立ちません。それよりも「国語」や「数学」を勉強したほうがよっぽど「生きる」のには役に立ちます。

しかし「社会」は君たちがどう生きるか悩んだときに必要になってくる教科です。たとえば今、コロナによって世界が不安定になっていて、みんなもこの先どうなるのかと多かれ少なかれ不安を持っていると思います。しかし「社会」を勉強していると過去に似たような病気のときにはどんな対応をしたのか、ほかの国ではどんな対応をしているのか、そしてその結果どうなったのか、ある程度見通しをもつことができます。

「社会」は視野を広げてくれる教科です。人生に悩んだときはぜひ「社会」を勉強してみてください。違う世界が広がってくると思います。

[大西 和代]

なぜ勉強するのか？勉強は皆がやっているから、今までずっとやらなければいけないものだと思っているから、または親や周りの大人達から「今勉強しておけば将来役に立つ」「受検してそれなりの学校に行けば選択肢が増えるから」などなど……。でも、もしそのために備えてきたことがうまくいかなかったとしたらその勉強は無駄なことになってしまうのでしょうか。好きなこと、趣味、部活動では、たとえコンクールや試合に勝てなかったとしても、友達と一緒にできる喜び、もっと上手になりたいとスキルアップできたり、充実感を感じたり、そこに多くの学びがあります。勉強も同じだと思います。すべての生活の中で関わっていくものが学習するということで、意味のあることだと思います。

[戸田 由美]

数学(算数)とは、世の中に存在する様々な問題を解決する道具です。中学校から学ぶ数学では、数学的活動(授業)を通して得られる能力が将来の役に立ってきます。その能力とは、根拠を見つけ分析し、道筋を立てて最終的な結論へ至る「論理的思考力」です。え！？数学って算数の延長じゃないの？なんだか難しそうだな。と、思うかもしれませんが、基本的な計算方法を学び答えをだす算数とは違い、数学は負の数や文字式など日常生活では目にしない抽象的なものを使って「なぜそうなるのか」考えてみたり、情報を整理し解き方を組み立ててみたり、解けたらスッキリする謎解きみたいな、とても楽しい教科です。まずは、「これは、こうだから、こうかな」と自分の考えを持ってみましょう。そして、数学という答えが決まっている問題を通して解決方法を養っていきましょう。

[野澤 こずえ]

Learning gave me a gift.

1. Emotions 2. Confidence 3. chance

Two years ago, I participated in All Japan English Recitation Contest. Then I met Malala's speech. I was moved by her speech. Before that, I lost hope of life. I was afraid of learning because I was always concerned about the results. So I thought I would stop teaching many times. However her speech told me the importance and the happiness of learning.

In my case, I feel the joy of knowledge and fun when I am studying. Sometimes I get tired. I can get various emotions. I remembered that I had gained confidence from studying English so far. For example, I have participated in English Speech Contest since I was a high school student but at the beginning I couldn't write the script by myself. Thanks to my English teacher, I finished writing my speech. I kept trying hard. I had many mistakes but they made me strong.

Malala said "The pen is mightier than the sword was true. Let us pick up our books and our pens. They are the most powerful weapons. One child, one teacher, one book and one pen can change the world." For the recitation contest, I practiced every day. Practice doesn't betray. I got more confident.

Finally, I noticed the reason I was able to have like these experiences. I got a chance to expand the possibilities. It's your turn! Why do you learn? Let me know.

[佐藤 諒平]

まず、中学校は最後の義務教育課程です。中学校を卒業した後、更に勉強をしたいと希望する者が高校へ行く。だから希望する者を選び抜き、合格、不合格を決める高校入試がある。勉強を頑張ると希望する進路に行くことができる。自分たち一人一人が納得できる進路の選択ができる。ただ、人生そんなにうまくいくものではない。きっとどこかでつまずいたり、大きな壁に出会って挫折することもある。そんな時に生きるのが勉強なのだと思う。目の前の壁にどうやって立ち向かうか、今ある知識を組み合わせることで必死に考えて実践していくこと、それは勉強することで身に付く力です。目の前の壁を突破するベースとなるのは基礎・基本。その基礎・基本を勉強する場所が中学校だから、中学校の勉強はすごく大切なものだよね。

小学校で勉強が苦手でも大丈夫。また新しく勉強しなおせばいいんだから。

1学年全体でいいスタートを切って学校全体を盛り上げていこう！！

[松本 芳枝]

中学生になると、学校の宿題、日々の予習復習などやらなければいけないことが増えます。でも、どうしてもやる気がでないときに「なぜ勉強するの？」という疑問が出てくるときもあります。すべての教科が大人になって役立つということではありませんが、役立つところは必ずあると信じて勉強してほしいと思います。幅広くいろいろな勉強をすることで考え方の幅が広がるのです。皆さんが将来どんな仕事に就くことになっても、たくさんの知識をもつことで人生が豊かになるのですから。そこで、皆さんにアドバイスをするとしたら、次のようなことを提案します。

「何か自分で興味が持てることを学習の中で見つけると、勉強が楽しくなりますよ。」私自身、ある資格を取るために勉強しています。勉強は大人になってもできます。目標があると頑張れます。

[渡邊 千尋]

「国語ってなんで勉強するんだろう？」きっとみんな一度は思ったことがあるはずですよ。そして、「日本語しゃべれるし。読めるし、書けるもん。国語なんて、勉強しなくていい、何とかかなる。」と、思っている人がきっとたくさんいることでしょう。でも、本当に日本語を使いこなせていますか？

たとえば、今、私はこの「なぜ勉強するのか？」というテーマで大いに悩んでいます。名言を調べたり、いろいろな人の意見を読んだり聞いたり、自分の中に何となく浮かんだ考えを形にしようとしたら、どうしたらみんなに伝わりやすい文章になるんだろうと考えたり…。国語の先生になった今でも、こうして日本語の難しさと格闘する日々です。「なんとなく」日本語を使うことはきっとみんなできることでしょう。深く読み込み、そこに込められた思いや意図を追求することや、分かりやすさや味わい深さなど、よりよい表現を追求することにきっとゴールはないのです。

私たちは普段、日本語を読んだり聞いたりして情報を取り入れています。日本語で会話をして関係を築いていきます。日本語で考え、その考えを言葉にしています。生きている限り、人が考え、誰かとつながっている限り、国語の勉強は尽きません。逆に言うと、よりよく生きていくために勉強するのが国語だと、私は思うのです。